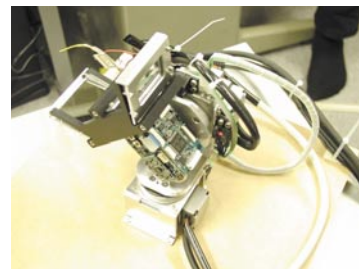


次世代インテリジェンス・セキュリティーシステムのモデル化

企業 / 株式会社ゼットエムピー

研究者 / 北野 宏明 (独立行政法人 科学技術振興機構

ERATO 北野共生システムプロジェクト 総括責任者)



試作システム装置外観

犯罪率の急増、地震災害への不安、高齢化社会の到来などから、セキュリティに対するニーズが高まり監視システムの導入が急速に進んでいる。しかし既存のシステムは、監視員が常時モニターをチェックする必要性があり、自動化が求められている。本研究では、音響情報と視覚情報の統合により移動物体の検知を行い、雲台をフィードバック制御することにより不審者の自動認識および自動追尾・記録可能なモデルを試作すべく、ステレオ視可能な光学カメラユニット、そのユニットを駆動し対象を追尾する雲台、上記を統合した自動追尾のための画像認識・追尾システムを開発した。

結果としては、当初計画した項目を満足しており、概ね良い結果を残していると思われる。特に、コアとなる制御システムに関しては将来的な拡張や製品化も見込んだ設計になっており、今後の変更やモジュールの追加にも柔軟に対応できる。さらにシステムは汎用のネットワークを使用しており分散処理、集中処理の選択を目的に応じてできる。

製品化ができれば監視カメラ業界の自動化という新たな産業の創出に貢献できる。